

授業科目	ES2F44	2単位	選択	講義	2学年前期	担当教員	准教授 小野崎美奈子			
	家庭支援論									
授業の概要	① 子どもの育つ場としての家族・家庭の役割を検討し、子どもと家族・家庭の関係やその役割について学ぶ。 ② 子育て家庭を支える法・制度及び社会資源を学び、子育てをめぐる諸課題に対しての社会的支援を学ぶ。 ③ 諸外国の子育て支援制度を知り、国際比較を通して日本の子育て支援を客観的に見つけ、支援における基本的な理念を学ぶ。									
到達目標		学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 子どもが育つ場として捉えた時の家族・家庭の役割を理解する。			◎	○	◎				○	
2. 子育てをめぐる諸問題とその背景を理解し、子育て家庭の支援における保育者としての役割に気づく。		◎	◎	○	◎	○	◎	○	○	
3. 子育て家庭の支援に関する政策動向及び支援の実際について理解を深め、諸外国の例との比較から現状と課題を客観的に把握する。			◎	○	◎	○			○	
4. 多様な背景をもつ子どもたち一人ひとりの心に寄り添う支援の在り方について考察を深める。		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照										
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習			
1	オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と必要性	シラバスに目を通しておく。 教科書2ページ～12ページを読んでおく	・授業の進め方及び評価の方法を理解する。 ・子どもが育つ場としての「家族」「家庭」の役割や「意義」について考える。				今後の学びの見通しを立てる。 本時の学習内容をまとめておく。			
2	子ども家庭支援の目的と機能	教科書14ページ～24ページを読んでおく。	・子育て支援に関する制度や現状家族・家庭の動向と現状について理解し、子ども家庭支援の目的について学ぶ。				本時の学習内容をまとめておく。			
3	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	教科書26ページ～36ページを読んでおく。	・子育て支援・次世代育成支援の背景や施策について理解する。				本時の学習内容をまとめておく。			
4	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	教科書38ページ～48ページを読んでおく。	・子育て家庭を支える社会資源やその担い手について理解する。				本時の学習内容をまとめておく。			
5	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義	教科書50ページ～60ページを読んでおく。	・保育の専門性を活かした支援の意義を学び、保育者の具体的な専門性について理解する。				本時の学習内容をまとめておく。			
6	子どもの育ちの喜びの共有	教科書62ページ～72ページを読んでおく。	・保育所保育指針等を通して、子どもの育ちを保護者と共有することの意味について考える。				本時の学習内容をまとめておく。			
7	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	教科書74ページ～84ページを読んでおく。	・保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援を行う上で保育士に求められる視点を考える。				本時の学習内容をまとめておく。			
8	保育士に求められる基本的態度	教科書86ページ～96ページを読んでおく。	・保護者との信頼関係を築き、援助を行うために保育士に求められる基本的態度について学ぶ。				本時の学習内容をまとめておく。			
9	家庭の状況に応じた支援	教科書98ページ～108ページを読んでおく。	・毛俗的に支援を必要とする家庭状況や保育者に求められる役割について理解する。				本時の学習内容をまとめておく。			
10	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	教科書110ページ～120ページを読んでおく。	・地域の多様な資源の活用と自治体や関係機関との連携・協力の在り方について学ぶ。				本時の学習内容をまとめておく。			
11	子ども家庭支援の内容と対象	教科書122ページ～132ページを読んでおく。	・子ども家庭支援の具体的な対象、内容とアプローチの方法について理解する。				本時の学習内容をまとめておく。			
12	保育所等を利用する子どもの家庭への支援	教科書134ページ～144ページを読んでおく。	・保育ソーシャルワークの視点から保育者に求められる家庭支援について学ぶ。				本時の学習内容をまとめておく。			

13	地域の子育て家庭への支援	教科書146ページ～156ページを読んでおく。	・地域で子育てをしている家庭への支援について理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
14	要保護自動およびその家庭に対する支援	教科書158ページ～168ページを読んでおく。	・要保護児童の現状を理解し、地域の様々な機関や専門職の連携による支援について学ぶ。	本時の学習内容をまとめておく。
15	子育て支援に関する課題と展望 まとめ	教科書170ページ～180ページを読んでおく。	・子育て支援における潜在的ニーズを理解し、今後の子育て支援の課題について学ぶ。	本時の学習内容をまとめておく。 学びの成果と課題を把握する。
成績 評価	講義への取り組み（態度、レポート等の提出物）（40％） 期末試験（60％） 合計100％			
教員からのコメント	保育者は子どもたちへの保育を通して関わる中で、子どもの保護者や家庭に対して支援を行っていきます。複雑多様化する家庭の現代的課題に向き合いながら、子どもの育ちと家庭の子育て力を支える実践力を高めていただき、支援の基本的知識を習得するとともに子育て支援を展開する姿勢や態度を身に付けていきましょう。			
教科書	書名 新基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論 第2版 著者 松原康雄・村田典子・南野奈津子 発行所 中央法規	推薦 図書	必要に応じて随時紹介する。	